

GUNMA  
HOUSING  
AWARD  
2018

優秀賞  
リフォーム

# 里桜の家

〈さとざくらのいえ〉

設計者 ほしかわ工務店株式会社

施工者 ほしかわ工務店株式会社

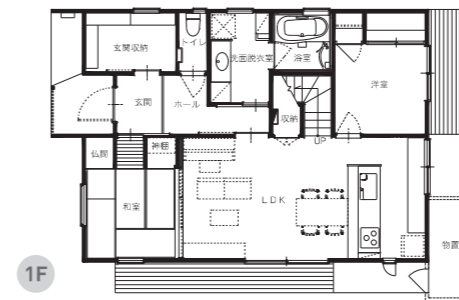
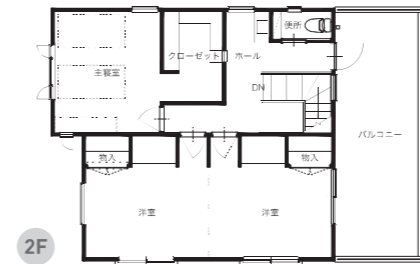


## CONCEPT

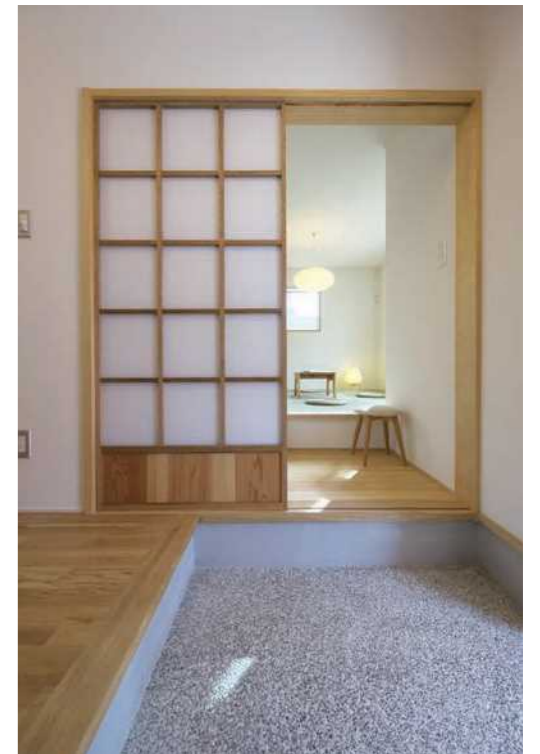
### 設計主旨

お施主様の想いとして父との思い出が詰まった建物の面影を残しつつ、今の暮らしに合った家にしてほしいとのことでした。そこで、1度建物の躯体を残しながら解体をし、間取りの変更と減築をしました。実母と若夫婦とそのお子様4人家族に合う建物ボリュームにし、住宅密集地のため外部へ生活感があらわれないようなファサード計画をしました。実母の部屋を防音仕様にするなど、共同生活に配慮した性能も確保しました。大規模な改修にともない、断熱材を入れ替え、ユニットバスは断熱性能の高いサーモバスとすることで、住宅性能をあげつつ、家全体の温度差をなくすようにした。

また敷地の奥に広めのバルコニーを新設することで、外の空気を感じることができるプライベート空間をもうけました。とくに意識したのが、全面道路の街路に広がるソメイヨシノを家の中からの景色として暮らしに取り込めるように設計を進めていきました。「里桜の家」の名前の由来は都市部に咲く桜の意味を持つ「里桜」から、今回の家の代名詞としました。



平面図



## REVIEW

### 講評

両親の『想い』の籠もった家だから改修して大切に住まう。静かな住宅街、綺麗な外装がまだ新しさを感じる。しかし何故だろう以前からそこに建っていたかのような雰囲気をもっている。それだけでもこの住宅の質の高さを感じる。施主の強い想いのもと、前景の桜並木の風景を室内に取込んだりと機能的で細やかな配慮あるプランは既存改修という制約があるにも関わらず、一見改修とは思えない完成度の高さである。外壁板金やサッシ周りそして内部の施工もとても良い。ぐんまの住宅の改修事例としてお手本となるような高く評価できる作品である。

